

# 目賀田種太郎と今村力三郎 専大法学教育の原点

日高理事長講演



聴講者に専修学校の法学教育について語る日高理事長

法律が未整備の明治期、創立直後の専修学校はどのような法学教育を行っていたのか。日高義博理事長が10月8日、特別展「目賀田種太郎と近代日本」に合わせ、たばこ塩の博物館(東京都墨田区)で講演。激動の時代に専修大学の発展に尽くした目賀田種太郎と、草創期の卒業生で弁護士となった今村力三郎について語った。専修大学140周年記念事業の一環。

目賀田は専修大学の創立者の一人で、1880(明治13)年に専修大学の前身・専修学校を設立した。今村は第7回卒業生で、大逆事件などの弁護士を務め、1946(昭和21)年に卒業生で初めて総長になった。

日高理事長は、専修学校の法学教育を「実践教育に力を入れるとともに、法典づくりの土台となる理念や法的なもの、考え方を身につけた法曹の養成を目指した」と説明。「目賀田先生の演説原稿にある『単に法解釈を教えるのではなく、法の根幹にあるものを理解させる学校を目指す』という部分は、私の一番ひかれるところ」と述べた。反骨の弁護士として活躍した今村については、「弁護士は刑事事件において負けるべき事件に勝ってはいけない」という回顧録の一節を引き、「専修大学の法曹教育を体現された先生」と敬意を表した。

創立当時の科目「私訴犯法」は、いまの不法行為法にあたる先進的な教科だったことなど、数々の逸話が法学者ならではの視点で明かされ、卒業生や研究者など約80人が聴き入った。講演後は松岡啓祐今村法律研究室長の司会で、会場からの質問に答えた。

今村の足跡と業績を紹介する「今村力三郎生誕150周年記念展」が12月3日(土)まで生田キャンパスで開催されている。

## 行基の実践仏教に焦点

公開講座「歴史を紐とく」 角田氏講演



行基について語った角田氏

エクステンションセンター 矢野建一前学長(日本古史・公開講座「歴史を紐とく」6講座3日間)が10月に行われた。15回6人が登場した。歴史ファンら延べ1546人がマは「古代の祭祀と儀礼の諸相―古代への接近―」4月に急逝された「行基集団と大野寺土塔」を聴講した。

第1回の10月8日は「行基について語った角田氏」が中心に、民間の奉仕者として寺院外の活動を禁じられた時代、畿内(近畿)を中心に広く民間に出て、豪族から庶民まで仏法の教えを説き行基集団を形成した。仏教本来の「自らの心を清ら

かにする」という教えに基つき、各地に橋や灌漑用の池を設けるなどの社会事業にも尽力した。その好例が大野寺(大阪府)の舍利供養のための土塔建立だ。土塔の全面は瓦で覆われ、そのうち約12000点の文字瓦には僧侶名だけでなく無姓者が刻まれている。「さまざまな人が行基の元に集結し、土塔の造営に協力したことがうかがえる」と角田氏は解説。行基の師である道昭

「(629〜700)が唐で玄奘に学んだ大乗仏教の重要な文献『瑜伽師地論』についても言及、行基思想の源を探った。角田氏は故矢野前学長に師事し、博士(歴史学)を取得。博士論文を『行基論 大乗』(2015)として出版した。

「(629〜700)が唐で玄奘に学んだ大乗仏教の重要な文献『瑜伽師地論』についても言及、行基思想の源を探った。角田氏は故矢野前学長に師事し、博士(歴史学)を取得。博士論文を『行基論 大乗』(2015)として出版した。

OB菊池氏が特別講義

10月20日、富士シティオ代表取締役社長の菊池淳司氏(昭58経済)が学

「スーパーマーケット」(56店)、関東圏でコジエンスストア「スリーエフ」(539店)、海外にも進出し、パンコクで「UFMフジスーパー」(4店)など、富士シティオグループとしてスーパー・コンビニ事業を展開している。菊池氏は「日本の長寿



大勢の学生を前に身ぶりを交え熱演する菊池氏

「スーパーマーケット」(56店)、関東圏でコジエンスストア「スリーエフ」(539店)、海外にも進出し、パンコクで「UFMフジスーパー」(4店)など、富士シティオグループとしてスーパー・コンビニ事業を展開している。菊池氏は「日本の長寿

社会はスーパーが支えている」という持論を展開。「スーパーの発展が、生鮮食品をはじめとした良質な食料品の供給につながる、食生活が大きく改善された。その結果、平均寿命が戦後の短期間で大きく延びた」と語った。

スーパーマーケット業と語りかけた。

杜甫全詩訳注(全4巻) 下定雅弘・松原朗編

杜甫(712〜770)は詩聖と称された中国最大の詩人である。「国破山河在り」。戦乱で破壊された長安の都を悲しんだこの句は、芭蕉の「奥の細道」にも引用されてあまりにも有名である。

杜甫全詩の訳注は、昭和初期の鈴木虎雄以来、90年近く現れなかった。以前から新しい訳注を求め、約1

500首の膨大な作品量と、杜甫一流の難解な詩句にははまれて実現しなかったのである。

今回、全国から集結した三十余人の執筆者の力で、分かりやすく簡潔な杜甫の訳注が完成した。松原教授は「取りまとめ役としてこの仕事に関わったことを光栄に思う。一人でも多くの専大生諸君が、本書によって杜甫の魅力に触れてほしい」と話す。(講談社学術文庫・巻1、巻2、各2300円、巻3、19000円、巻4、29000円) いずれも十税

著者(まつばらあき)は文学部教授。主な担当は、中国の文化と歴史。

外国語の又又又  
外国語教育研究室

牛骨付き肉でスープから作った力作カレー

大変だ。ジェスチャーを駆使し、伝わるまで悪戦苦闘するはめになる。これはこれでゲームのようで楽しいが、後ろに待つ人がいる所で繰り返すのは度胸がいる。

そのため小心者の私は、食材調達という不純な動機でハンガリー語を習うことにした。入手したテキストを見ると、ありがたいことにはじめの方の章に市場での会話例があった。そしてそこには、「注文は以上です」という表現や三桁の数字の発音など、求めてやまなかった情報が満載だった。次のブダペスト訪問までの期間、この章の会話をそれは熱心に練習したのは当然の帰結だ。その特訓の成果はまずまずだったのではと思う。濃厚な骨付き肉のスープやピリリと辛いパプリカ、チョコレートのように甘いサクランボを味わうことができたのだから。(担当は英語) ※短縮版：全文はCALL教室ホームページで

お肉とお野菜のハンガリー語

ブダペストには、町の街区ごとに常設の市場がある。青空市場ではなく、立派な屋根のあるアーケードに市場が入っているのだ。業者は皆定位置があるので、「あそこはトマトの専門店」とか、「ここのベーコンは焼いたら香ばしい」など、記憶とお店を関連づけやすい。このように市場での買い物は楽しいが、問題もある。言葉だ。こうした場所では英語は通じない上、全てが量り売りだからだ。欲しいものを指さして数を指で示すだけなら簡単だが、前から3列目の右から3番目のハムを6枚欲しい、という時は

本書は、かつて著者が経済、経営、商、文の各学部において担当した「法学」の内容である『生活法学入門』(1996年、酒井書店)に、大幅に加筆した法律書である。すなわち、結婚と離婚、親子、遺産相続や、売買、金銭の貸借と担保、物の貸借と借地借家、不法行為と損害賠償などの内容に、近年の多くの立法改正や新たな判例にも対応させつつ、法

著者(ささきかずお)は法学部准教授。主な担当は、刑法、法学。

基礎からわかる生活法学

佐々木和夫著

本書は、かつて著者が経済、経営、商、文の各学部において担当した「法学」の内容である『生活法学入門』(1996年、酒井書店)に、大幅に加筆した法律書である。すなわち、結婚と離婚、親子、遺産相続や、売買、金銭の貸借と担保、物の貸借と借地借家、不法行為と損害賠償などの内容に、近年の多くの立法改正や新たな判例にも対応させつつ、法

専修人の新しい本

学部の学生にも役立つように、法解釈の技法などの法律学の重要事項も書き加えたものである。

本書は、日常生活で発生するさまざまな法律問題について、実社会で発生する問題の順番に従って解説しつつ、その関連箇所において法学の一般理論を織り込み、難しい漢字にはふりがなを振り、法律用語は太字にして定義を明記するなどの工夫をした。このため、法学を学んでいない方々が読んで理解できるよう内容となっている。(成文堂・2700円十税)